



わかるは かわる通信

2026

令和 8年
2月号



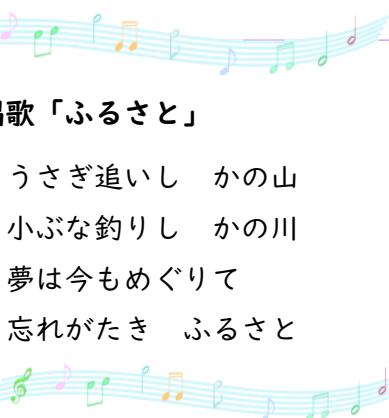
1月下旬、暦通りに寒波がやってきました。
まさに“大寒”。積雪や凍結などで、生活に大きな影響がある地域の方々は、本当に大変なことと思います。

もうすぐ立春。春が待ち遠しいです。



唱歌「ふるさと」

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき ふるさと



唱歌「ふるさと」と思い出

小学校の音楽の教科書にも載っている『ふるさと』、多くの方が知っている歌だと思います。
この歌で思い出されるのは、父が亡くなった時のことです。

父は、兄たちにはとても厳しかったそうですが、末っ子の私にはまったくそのようなことはなく、とてもかわいがられて育ちました。末っ子だからか、戦争を体験し父の心境に変化があったからなのかわかりませんが、私には甘く、望んだことは何でもしてもらえたように思います。

私が高校一年生になった年、父に病気が見つかり、入院することになりました。闘病生活と言えるほどの間もなく、亡くなってしまいました。入院先から連絡があり、母や上の兄弟たちは病院へ向かいましたが、私とすぐ上の兄は、連れていってもらえませんでした。亡くなった父の姿を見るのはつらいだろうという判断だったようです。

その兄が、「歌を歌って、お父さんを送ろう」と言いました。その時、兄と二人で歌ったのが、『ふるさと』です。亡くなった父のいる病院がある方向に向き、姿勢を正し、兄と二人で涙をこらえて歌いました。

父との別れは、私の人生の大きな転機ともなりました。私にとってこの『ふるさと』は、父との別れや、子どもの頃のさまざまな記憶が呼び起こされる歌であり、これまでの人生を思い起こさせる歌です。

皆さんにとっての思い出の歌、曲は何ですか。



阪神カウンセリング・ラボ 梅田相談室

<https://www.hanshin-cl.com/>

〒530-0014 大阪市北区鶴野町 4-11 朝日プラザ梅田 9 階 910

Tel/Fax 06 - 6147 - 2533

E-mail hanshin-c.l@star.ocn.ne.jp

